



精緻な遺伝子情報を書き込み 生命を休みなく生かしている 人知をはるかに超えた 何か偉大なる叡智。 それを私は サムシング・グレートと呼ぶ

村上和雄（筑波大名誉教授／一八三六〜二〇二二）



村上氏は遺伝子研究の世界的研究者。1983年世界で初めて高血圧に関する酵素レニンの遺伝子解読に成功した。しかしあるとき、解読した人間より書きこんだ存在の仕業？にふと思いついたという。

ヒトのDNAは約32億の化学文字、大百科事典3200冊分という膨大な情報から成る。それが二重らせんの構造で、人体の37兆個ある細胞の核の中、2000億分の1グラムという極微小の空間に書き込まれ、生命を維持するべく協調して働いている。しかもカビなど微生物から動植

物に至るまで、生き物はすべて同じ遺伝子暗号を使って生命活動を営んでいる。

その超マイクロで精緻な、美しくもある生命の設計図を前にすると、どうしても人間の力のはるかに及ばぬ不可思議な何かを想定せずにいられない。万物の根源、大自然の法則を司る崇高な意志、神や仏と呼んでも、生命の始まりに位置する親と見なしても良く、包括的概念とする。

生命研究の最先端から見えてきたものが、何か畏敬の念すら抱いてしまう、とても宗教的な感性に通じているようだ。

たとえ一人になろうとも

仏はあなたと

共にある

◆一九九一年発刊『ブツド・

バイ』みほとけのおそばに』

は、その前年に五十歳で往生

された雪山隆弘師の遺稿集。

最愛の父を亡くした経験から、

英語の「グッドバイ」にヒン

トを得て、『神』を『仏』に言

い換え「われらのブツダ、阿

弥陀仏は、いつでもどこでも、今ここでも私のそばにいらつしや

る。なもあみだ仏というお念仏は、ことばをかえれば『ブツド・

バイ』なのだ」と記されます。*バイ(BYE) 〓側にいる

親鸞聖人ご遺言の書と伝わる「御臨末御書」には、「一人居

て喜ばは二人と思うべし、二人居て喜ばは三人と思うべし、そ

の一人は親鸞なり」という一節があります。「あなたは一人で

はない。あなたのことをまるごと引き受けてくれる存在がいる」

という励ましです。悩み苦しい時には孤独な世界に心が閉じて

しまい、多くの支えの中にいてもそのことに気づかず、自分の

意志を超えて「生かされている」という私を見失いがちです。

悟りに背を向け、迷いを生み出しながら生死を繰り返す私た

ちだからこそ「必ず仏にさせ、浄土の救いを約束する」と阿弥

陀仏は誓われ、長い修行を経て仏となりました。私を目当てに

したそのはたらきは、南無阿弥陀仏の名号となつて成就され、

常に声となつて私と共にあるのです。(参照「月々の言葉ほか」)

お布施はお気持ちで、と言うけど100円でもいいんですか？

教えて、お坊さん

③①

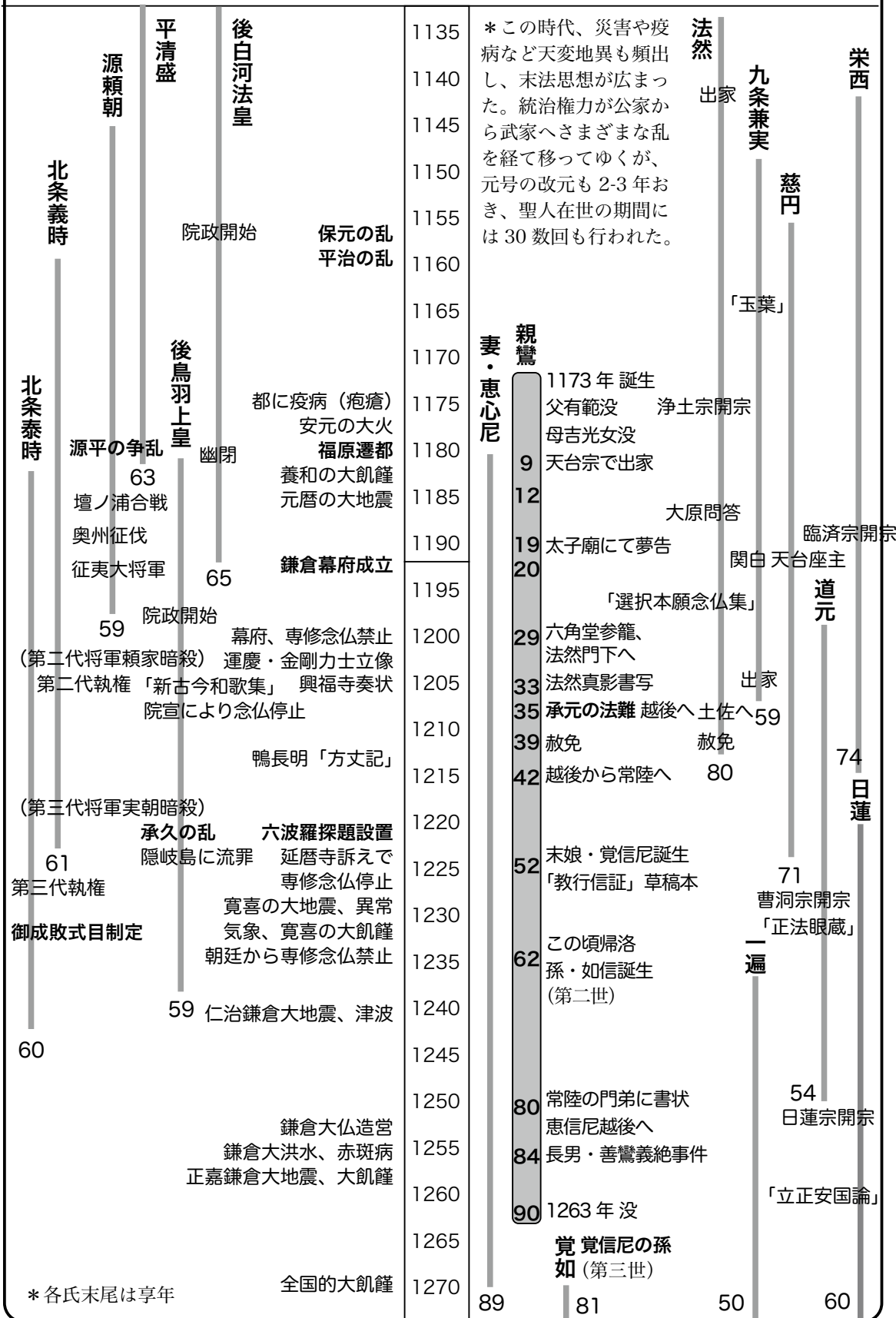
おお！それは大胆な～。も、勿論OK！賽銭クラスだけど(笑)。知人の住職などは(もしそう頼まれたら)あっさり0円でいい、とも言う。

現場では、法事や各種仏事、葬儀も含めて、やはり若手の方々中心に『どのくらい包めば良いか？相場は？』と尋ねられることも珍しくない。対応として、あくまで僧侶からは言わないという原則論の人もいれば、一覧表みたく金額を明示する業者もあれば(都会だけ?)、件の住職は「せいぜい悩んで精一杯してください」とか(意地悪?)、拙寺ではおよそ相場を伝えて「決してご無理ないように」と応答したりする。

元々布施とは、仏教の実践項目・六波羅蜜(布施、持戒、禅定、智慧、精進、忍辱)のひとつ。さらに「無財の七施」(眼施：好ましい眼差し、和顔施：笑顔、言施：柔らかな言葉使いなど)という金品を贈与しない施しもある。東南アジアで「喜捨」とも呼ばれるのは、大事なものを手放すことで執着を離れる態度、とみなされる。

いずれにしても、儀礼や仏様への報謝であり、サービスの対価ではないので読経料などと書いてはいけない。受け取る側も「お預かりさせていただく」「お気持ち」ゆえに、額について不満を口にすべきではない。旧統一教会の献金構造は論外だが、信仰による寄進・寄付は古来から為されてきたのは、寺院や教団の維持という面の他、やはり生死の解決をすることが宗教者に求められた最大の役割だったからだろう。

平安末期～鎌倉初期 『親鸞聖人と15人 (ほんとはもっといる)』 関連年表



* 各氏末尾は享年

眠れるよい遺伝子を目覚めさせよう～村上和雄氏：心と遺伝子研究会

2021年4月に亡くなった村上和雄氏を偲んで、映画「祈り～サムシング・グレートとの対話」（監督：白鳥哲）が、当時期間限定でネット公開されたと知り、視聴した。

2012年に公開されたこの映画は、俳優・北村有起哉が若き村上先生を演じ、「祈りという行為に科学のメスが入り始め、その研究の最先端を欧米の科学者達と共にDNA研究の権威、筑波大学名誉教授 村上和雄氏が解き明かしていく」という内容だ。海外の実験の一つでは、特定の疾病を持つ二つの被験者グループに何も知らせず、片方のグループに対して祈りを向け続けた結果、数値が改善されたなど興味深かった。

今夏に、たまたま村上先生のベストセラー「生命の暗号」などを再読する機会があった（下のタイトルのうち「神」とは生命の根源的なものという意味で、一神教の神ではない）。2002年に村上氏が私財をもとに創立した「心と遺伝子研究会」のHPには、「仏教的な祈りと遺伝子の働き（オン・オフ）の研究を2013年12月8日から開始した」とある。

現在まで、オン・オフに関する多くの論考が氏によって提起されており、生命科学と宗教が接近したこれらの知見のいくつかは、私たちの眼を開かせてくれるに違いない。

■ DNA という化学物質には、1) 自らの複製を作り細胞を再生産する、2) タンパク質（アミノ酸）を作るという大きく二つの働きがあり、2を遺伝子と呼ぶ。遺伝子は、成長と維持に必要な情報（臓器を動かし、免疫を働かせ、代謝や修復機能）を絶えず発信している。

■ ヒトゲノムの塩基配列情報は解読されたがその意味や機能は不明。タンパク質設計図たる遺伝子は全ゲノムの5-10%に過ぎず、残り95%は眠っているかその働きは未解明。

■ ヒトの遺伝子は約2万種ありネズミとほぼ同じ。ハエは1万5000種、イネは3万2000種もある。ゲノムレベルでは天才も凡人も0.1%の違いしかなく、ヒトとチンパンジーの差も1.2%、ヒトとイネの差は約60%（4割は同じ!）。

■ 遺伝子は心身のさまざまな能力を司るが固定的でなく、物理的的刺激、環境変化、運動、食事、精神作用などでスイッチがオン・オフする。その機能のほうが生命の進化や活動にとってより重要である。例をいくつか挙げれば、

- ・ 入学、進級、就職、転勤、結婚、出産 etc
- ・ 極限状態（火事場の馬鹿力、素潜り記録）
- ・ 飢餓状態（断食、少食）
- ・ 恋愛（ホルモン結合タンパク質変化実験）
- ・ 生きがい（末期癌患者の延命に寄与）
- ・ 笑い（吉本興業、64の遺伝子が活性化）
- ・ 楽天性（福知山脱線事故重傷Sさん回復）
- ・ 利他性（師友塾、相互扶助進化論）
- ・ 感謝、感動（有難し、プラス発想）
- ・ 目的と集中（祈り、瞑想、アスリート）

逆に、遺伝子の働きを阻害するのは強いストレスや、否定的で自己中心的な心という。眠れる遺伝子のうち、よい遺伝子がスイッチオンになれば心身の可能性はずっと広がる。



本音の コラム



三階建て校舎の屋上から手と足が離れた瞬間ま
ずいと思った。運動神経
がよかった。筋力もあつ
た。足は本能的に着地の
構えを取り、両腕も胴体
をかばった。左足首と左
手首の捻挫だけで済んだ
のは、裏庭が芝生だった
からだと思う。死にたい
と思つても、体は思いを
裏切つて生きたいと決め
たのだと知つた。生きよ
うと思つた▼太宰や大江
が好きだった。希死念慮
に「同性愛は性的倒錯/
精神障害/変態性欲」と
記した当時の広辞苑や百
科事典の影響があつたか
わからない。十七歳がど
こまでそれらの権威に抗
えていられたかは心許な
いが、倒錯者でも変態で

17歳のいまのきみへ

北丸 雄二

もないという自覚は強く
あつた。生きたいと思つ
た自分の体を裏切れない
思ひだけで生き延びた。
そのうち新聞記者になつ
た。泣いてる場合じゃな
い現実と世界を知つた。
自分以外を知つた。死ん
でる場合じゃなかつた。
幸運だつたと思つ▼「同
性愛者は生産性がない」
とはさく杉田水脈が総務
大臣政務官だ。「LGB
Tは種の保存に背く」と
嘯く安倍晋三が文部科学副
大臣だ。誰も彼もが統一
教会スブスブだ。今の十
七歳に、きみは幸運だと
言えない。こんなに時代
は変わったのに今度の内
閣も座視するだけで恥じ
ぬな。間違つてるのはや
つらだ。きみじゃない。
広辞苑も百科事典も書き
換えさせた。この政治だ
つて必ず変わる。きみも
死ぬな。(元新聞記者)

*思わず引き付けられたコラム。自我とは別にカラダは自律的に生きようとしている。全部を政治のせいにするつもりはないが、子どもたちを追い込み、自分にも他人にも暴力を向けるような社会を大人たちの政治が作っているとしたら、その一人としても絶対にスルーできない。苦しみ悩み、居場所を求め続け、痛みを共にし、ストレスのところでふんばり、そうやって社会に対して諦めない人たちが必ずどこかにいる。「この政治だって必ず変わる。きみも死ぬな」久々に力強い言葉に出会えました。

雑記 ▼秋の恵みを各位から頂戴しており、感謝申し上げます。寺族だけでは余らせてしまうものは、お菓子なども含め、近隣の団体や児童養護施設にお裾分けさせていただいています。

▼前坊守も前任職喪失の余波が長びいています。お寺にご用事の際は、固定電話でなく住職の携帯におかけください。取れない時は掛け直します。

▼9月報恩講、法話は本定寺前任職・朝倉れいこ氏でした。先達の言葉をひもときながら、味わい深く語られました。

▼元首相の国葬(実態は偲ぶ会)は終わったが、諸問題満載のカルト団体を賞賛していた故人を国が追悼することの是非も、団体の推薦書や主義主張が国政にどんな影響を及ぼしたのかも、全くもってスッキリしない。信仰と社会について、さまざま考えさせられる。(S)



住職・林 暁 携帯 090-9765-1343 (メール、FBメッセージも可)